

# あけましておめでとございます



# 緑愛会だより

第91号  
 〒190-0161  
 東京都あきる野市入野811  
 社会福祉法人 緑愛会  
 指定介護老人福祉施設  
 あたご苑  
 あたご苑 ケアハウス

**初詣**  
 令和2年元旦、屋上から「愛宕神社」へ向かってお参りをしました。

明けましておめでとございます。令和になって初めて迎えた新年は、東京オリンピック・パラリンピックの年であり、首都の顔を選ぶ東京都知事選が、オリンピック開幕の19日前の七月五日に投票票されます。新知事には東京オリンピック・パラリンピックのホスト役としての榮譽を担うことになるものの、あなたが知事選ばれようとも、最大の課題は東京オリンピック・パラリンピック後の、首都東京の国際競争力をどう維持し、高めるかにあります。

介護保険制度の創設以来20年の時を経て、なくてはならない制度に育ったが、介護を理由にして仕事を辞める人が年間10万人いると聞きます。

深刻化する介護職員の不足に対しては、専用ロボットを使った入浴介助や、ITの活用による入居者情報管理の効率化に取り組むなど、デジタル化が課題克服の原点となると思われまます。財政負担を含めた見直しは待ったなしであり、超高齢化社会を乗り切る制度に変えられる節目の年となると考えまます。皆さん心を新たに、がんばりましよう。



常務理事  
 奥秋 利郎

## 新年のご挨拶



施設長  
 増田 俊一

## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとございます。昨年中は、ご入苑の皆様やご家族、そして地域の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

早いもので、あたご苑のあるべき姿を目標とした実施計画による「全員参加型」の四つのプロジェクトチームがスタートしてから一年を迎えようとしております。その中から「まずは理念を身近なところにおき、常に見てとれる状況をつくる必要があるのでは」との意見から、昨年十月、職員の名札の裏面に「緑愛会運営理念」をプリントいたしました。「ユニフォームに着替え一読すると、身が引き締まります。」と、職員の皆さんの反響も良く、各チームが一丸となって施策・事業の進め方などについて協議・実施してきた協働の成果ではないでしょうか。

また、昨年度、導入した見守りステーション、自動寝返り支援ベッドの効果などについては、(株)三菱総合研究所によります介護ロボットの効果実証に関する調査研究事業に